

タミフル非使用例の「異常な行動」等について(平成19年4月3日～4月17日までに入手できたもの)(その2)

No.	報告日	性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要	備考
1	20070403	男性	10歳代			異常行動	本年3月9日。インフルエンザB型。深夜、トイレに起きて別方向の窓(3階)を開けて出ようとしたため、家人が押さえた。その後別の窓を開け、再び出ようとしたため、家人が取り押さえ事なきを得た。本人はその時の記憶あり。	医療機関からの報告
2	20070403	女性	70歳代			譫妄、激越	本年3月28日。インフルエンザA型と判明。探し物をしてあちこちの棚を開け、制止し臥床させても起き出して行動を始める。足下はフラフラしており、探し物をする手も少し震えていた。話しかけても理解できない様子。	医療機関からの報告
3	20070403	男性	10歳代		ザナミビル水和物	幻覚、異常行動	本年3月22日。インフルエンザB型。1回目の吸入の数時間後、「誰かいる」など幻覚症状出現(体温38.9度)。2回目の吸入後、深夜、幻覚症状増悪。「外を見てくる」と言ってベランダに走って行った。家族が取り押さえた(体温40度近く)。	医療機関からの報告
4	20070403	男性	10歳未満			異常行動	本年3月末。インフルエンザA型と判明。体が浮くような感じがしてベランダに登りかけたところを家族が制止。	医療機関からの報告
5	20070403	女性	10歳代			異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と診断。夜、2階から降りてきて、道路に出て行くこうとするので、家族が必死で制止し、なんとか押さえつけることができた。	医療機関からの報告
6	20070405	女性	10歳代		なし	譫妄 幻視	本年3月23日。インフルエンザA型と診断されたが、リン酸オセルタミビル等抗ウイルス薬は処方せず。夜、39～40℃となった。トイレで何かを追い払うような仕草でバタバタしている事に家人が気付いた。部屋につれてきてもカレンダーを指示し虫がいるかのように振舞った。表情は眼を見開き、口がゆがんでいた。	医療機関からの報告
7	20070406	女性	10歳代			激越 譫妄	ザナミビル水和物処方後、押さえ込まないと暴れたり、大声を出したりする。「死にたい」「窓から落として」などと口走ったり、2階の窓から身を乗り出そうとするので、30分間抑えていた。その後、ザナミビル水和物吸入しても症状の発現はなかった。	医療機関からの報告
8	20070406	男性	10歳代			異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と判明。翌日夜39.9℃の発熱。急に起き上がり部屋から出て、他の部屋へ出入りする。焦点は定まらず。意思の疎通できず夜中に3度座り込み、笑い出す。朝、本人は昨晚のことがほとんど記憶にない。	医療機関からの報告
9	20070409	男性	10歳代			異常行動	本年3月5日。夜に妙なことを言う。翌朝5:30から発熱(39.2度)により、受診。臨床的にインフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与したが服用せず。昼頃、おびえだし、観察していたところトイレへ走り便器に顔を突っ込むようなしぐさで「死にたい」などと言っていたので親が制止した。	医療機関からの報告

No.	報告日	性別	年齢代	服用日数	併用薬	副作用	経過の概要	備考
10	20070410	男性	10歳代			異常行動 譫妄	以前より誰かに追いかけられるような感覚を伴う怖い夢を見ることあり。 本年3月5日。発熱および感冒症状を認めたが、リン酸オセルタミビルを含む薬物の処方を受けていなかった。翌朝4時過ぎより譫妄による怯え。また、その日の夜は平素と変わらぬ様子で入眠するが、夜中、自宅(3階)より転落し、現場で膝を抱えて座って叫んでいる状態を家人が発見。本人に転落前後の記憶はなかった。	医療機関からの報告
11	20070412	男性	10歳代			異常行動 悪夢 睡眠時遊行症	本年3月15日、朝から38℃台の発熱で自宅にて安静していたが、36℃台になり登校。夜0時前に就寝後、夢の中で何かに追いかけられ、それから逃げようと思いき飛び降りたら、それが現実だった。本人が気付いたときは自宅の庭であった。翌朝4時に近所の人に発見され、救急車で搬送された。搬送時と病院到着時意識清明。体温39.4℃。インフルエンザB(+)。右第2~4中足骨骨折あり。睡眠脳波、頭部MRI正常。	医療機関からの報告